令和５年度(2023 年度)　「全国学力学習状況調査・すくすくウォッチ」　結果概要　千早赤阪村立　千早小吹台小学校

国 語

・平均正答率は、大阪府の平均値をやや下回っている。
・読むことについての正答率は、大阪府の平均値を上回っている。
・漢字の問題や、記述問題で条件を満たすように回答するところに課題が見られる。

今後の対策

書く力、説明文を読み取る力を高めるために、
・初見文に触れる機会を増やす。
・条件付きの文章を書く機会を増やす。
・解答に必要なポイントとなる文言（説明文で使う言葉）を見つけ、理解できるようにする。
・漢字の意味を理解して読むようにする。

算 数

・平均正答率は、大阪府の平均値を上回っている。
・数と計算や変化と関係の領域は、大阪府の平均値を上回っている。
・正三角形・台形の意味や性質、三角形で底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題に課題が見られる。

今後の対策

図形領域や記述問題の力をつけるために、
・図形領域はとくにくり返し授業の中で触れられるようにする。
・友達との考えの交流を通して、算数用語を使う機会を増やす。
・自分の考えや友達の考え、学んだことなどを算数用語を使いながら、自分でまとめる活動を大切にする。
（自力解決、授業の振り返りなど）

理 科

・平均正答率は、大阪府の平均値をやや上回っている。
・「エネルギー」を柱とする領域の問題は、大阪府の平均値を上回っている。
・「地球」を柱とする領域の問題は、大阪府の平均値と変わらない。
・選択式や短答式の問題と比べると、記述式の問題に課題が見られる。

今後の対策

・実験を行う際、方法を検討したり、問題から予想や仮説を発想したりする場を今後も設定していく。
・資料から結論を導き出すために必要な数量、変化の大きさなどの特徴を見つけ、それをもとに自分の考えを言葉で表現する場を今後も設定していく。

わくわく問題

・平均正答率は、大阪府の平均値をやや下回っている。
・興味・関心のあることがらについて、意欲的に工夫して相手に伝える問題の正答率が高い。
・図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える問題に課題が見られる。

今後の対策

・工夫して相手に伝える力がついてきているので、今後も「理由や根拠を明確にして伝える」など論理的に考える場を設定し、さらに力を伸ばしていく。

アンケートから

・国語、算数の勉強は大切で、学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと感じている児童が多い。
・学習の中でＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使うのは、勉強の役に立つと感じている児童が多い。
・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している児童が多い。
・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童が多い。
・学級活動における学級の話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる児童が多い。
・先生は、あなたのよいところを認めていると感じている児童が多い。
・国語の勉強が好きと感じている児童が少ない。
・読書が好きと感じている児童が少ない。

本校は小規模校であり、こういった調査では母数が少ないため、全体の傾向を分析しにくい側面もあります。全体の回答率という大くくりの結果だけでなく、個々の設問についての結果や、児童個別の結果を参考にして、授業改善に努めております。